

令和6年度大雪山国立公園連絡協議会総会議事概要

■日 時：令和6年5月17日（金）14:00～16:00

■場 所：上川町役場大会議室（WEB 会議システム併用）

■出席者：出席者名簿参照

（変更箇所：鹿追町ジオパーク推進課 大西係長がオンライン出席
東川町 菊地町長 表記訂正）

■概 要：以下のとおり

1. 開会（司会：大雪山国立公園管理事務所 西井）

■大雪山国立公園連絡協議会会長 西木上川町長より挨拶

- ・当方は4月15日に上川町長に就任した。佐藤前上川町長から引き継ぐ形で、本協議会の会長を務めさせていただく。しっかり取り組んでいく所存なので、よろしく願い申し上げます。
- ・本日はお忙しい中、大雪山国立公園連絡協議会総会に出席いただき、御礼申し上げます。皆様におかれては、日頃より本協議会の運営へのご理解とご協力、ご支援を賜っていることにも重ねて御礼申し上げます。
- ・本協議会は、2020年6月に行われた総会より民間事業者や専門家などの皆様を含む、より多様な主体が協働する総合型協議会へと改組され、4年を迎えるところ。その間、大雪山国立公園ビジョンの実現を目指し、本協議会の下設置された登山道維持管理部会や各作業部会の場を通じて、主に山岳エリアが抱えるさまざまな課題に対し、その解決に向けた議論や取り組みが進められてきた。山麓エリアにおいては、特に層雲峡地区と天人峡地区の廃屋の撤去が現在進められている。この間、環境省に尽力いただいたことについても御礼申し上げます。解体後の跡地利用についても、今後より具体的な検討がなされていくところで、上川町としても、廃屋と国道を挟んだ向かいに位置する老朽化した町営住宅について、解体等の措置を進めたいと考えているところ。
- ・後ほど皆様にご審議いただくことになるが、令和6年度から本協議会に新しく二人の専門家の方を構成員としてお迎えし、ご参画いただきたいと考えている。
- ・今年は大雪山国立公園が指定されてから90周年の節目の年である。指定100周年に向け、大雪山国立公園ビジョンの実現を目指し、皆様との連携協力による相乗効果を発揮できるよう、協議会としてどのような取り組みをしていくのが良いのかということも含め、本日の総会では忌憚のないご意見を皆様よりいただきたい。本日はよろしく願い申し上げます。

2. 議事（進行：大雪山国立公園連絡協議会会長 西木上川町長）

（1）審議事項

- ・審議事項1）令和5年度事業報告について
- ・審議事項2）令和5年度会計報告について
…事務局（福濱・高橋）より、資料に基づき説明。
- ・審議事項3）令和5年度会計監査報告について
…美瑛町商工観光課成瀬課長補佐より、監事の角和美瑛町長に代わり報告。

→特段の質疑なく了承された。

- ・審議事項4) 令和6年度事業計画(案)について
 - ・審議事項5) 令和6年度収支予算(案)について
 - …事務局(福濱・高橋)より、資料に基づき説明。
 - ▶ 大雪山国立公園指定90周年記念フォーラムを12月に開催予定であることを共有。
 - ▶ 既存のシンボルマーク「大雪ハット」をベースとした指定90周年シンボルマークの運用及び取扱規程について提案。
 - ▶ グレードマップの英語版作成を提案。
- 特段の質疑なく了承された。

- ・審議事項6) 構成員の追加について
 - …事務局(福濱)より、資料に基づき説明。
 - ▶ 福山市立大学澤田教授及び北星学園大学トムソン准教授の追加を提案。
- 特段の質疑なく了承され、以下のとおり挨拶。

【ご挨拶】

■福山市立大学都市経営学部都市経営学科 澤田教授

- ・鹿追町の然別湖周辺で永久凍土の観測を20年以上続けている。これからよろしくお願ひ申し上げる。

■北星学園大学文学部英文学科 トムソン准教授

- ・ニュージーランド出身で、北海道には13年ほど住んでいる。北星学園大学でメディア・コミュニケーションを研究したり、教えたりしている。
- ・研究や教育活動とは別に、“The Hokkaido Wilds”という道内のアウトドア情報を英語で発信するWebサイトを運営している。外国人訪問者が多くなっているため、何らかの形で情報発信に携わることができればと思う。よろしくお願ひ申し上げる。

- ・審議事項7) 大雪山国立公園連絡協議会規約等の改定について
 - …事務局(福濱)より、資料に基づき説明。
 - ▶ 大雪山国立公園連絡協議会規約の第4条別表において、福山市立大学澤田教授及び北星学園大学トムソン准教授を構成員として追加。
 - ▶ 登山道維持管理部会規約の第4条において、必要に応じてコーディネーターを設置することを明記。また、第4条別表において、申し出によりNPOアース・ウィンドを削除。
 - ▶ 大雪山国立公園山岳トイレ等検討作業部会の設置概要資料において、コーディネーターの設置について明記。
- 特段の質疑なく了承された。

- ・審議事項8) 役員の改選について
 - …事務局(福濱)より、資料に基づき役員留任を提案。
- 特段の質疑なく了承され、以下のとおり挨拶。

【ご挨拶】

■大雪山国立公園連絡協議会副会長 菊地東川町長

- ・留任ということで副会長の任を改めて務めることになったので、引き続き西木上川町長、竹中上土幌町長とともに頑張っていく所存である。よろしく願い申し上げる。
- ・この後情報提供があるかと思うが、天人峡の廃屋除去においては環境省、観光庁、林野庁、その他関係自治体の皆様にも色々ご協力いただき、一定の方向性ができた。既に解体工事は発注されており、今年中には廃屋除去が完了予定で、来年からは再整備を進めたいと考えている。
- ・国立公園指定 90 周年関係についても、後ほど報告するが、既に東川町としてもさまざまなことを考えている。大雪山アーカイブスのセミナーでは参加者に 90 周年ということを知した上でクライマーの山野井泰史氏の講演会を実施。そのほか、東川町に移住し大雪山の歴史を研究され、昨年 3 月に亡くなられた清水敏一氏よりいただいた多額の寄付をもとに、東川町独自に大雪山に寄与する方を表彰する「清水敏一賞」なるものを現在企画し、準備しているところである。
- ・今後とも皆様におかれては連携させていただき、お世話になりたいと思っている。引き続きよろしく願い申し上げるとともに、改めて御礼申し上げます。

(3) 報告事項

- ・報告事項 1) 表大雪地域／東大雪地域登山道維持管理部会の開催結果について
- ・報告事項 2) 大雪山国立公園山岳トイレ等検討作業部会の開催結果について
…事務局（福濱）より資料に基づき説明。

→特段の質疑なし。登山道維持管理部会を代表して出席した 4 団体より発言。

【ご発言】

■大雪山倶楽部 愛澤代表

- ・大雪山の登山道は総延長 300km あり、その保全対策が大変であることは重々承知しているが、どうしても利用者の多い場所を優先的に整備される傾向はあるのではないかと。
- ・最近ニベソツ山に多くの登山者が入っている中、前天狗に至る道の急斜面は非常に危険だが、落石が生じてもし声をかけをしない、もしくは、知らない登山者をよく見かける。
- ・旭岳の頂上付近で視界不良の際、反対方向に下山する登山者に遭遇し、たまたま私たちが気づき、ことなきを得たが、大きな怪我や事故につながる可能性もあるので、具体的な注意喚起の方法等についてぜひご検討いただきたい。
- ・私たちが適宜報告や連絡ができれば、またそれも一つの改善策になると思う。私たちができる範囲で保全対策に協力するべく、行動を取りたいと思う。

■富良野山岳会 山名理事長

- ・富良野山岳会は昭和 2 年にできた山岳会で、北海道では 1 番古く、3 年後に設立 100 年を迎える。100 周年に向けた準備として、先日、実行委員会を立ち上げ、3 年後を見据えた事業を進めていくところ。
- ・富良野山岳会の行事、事業内容としてはコース整備が大きく、大雪山国立公園は当然のことながら、芦別や夕張など、道立公園の登山道整備も実施。

- ・会員数は現在 41 名だが平均年齢は約 53 歳で、道内の山岳会の中では低め。中には高齢化が進み、消滅している山岳会もある中、北海道山岳連盟として、人員や団体数が減っていく状況で、道内の山岳会が、登山道整備に今後どのように関わっていくかは、大きな課題。
- ・富良野山岳会としては、富良野岳や原始ヶ原につながる滝コースの整備や笹刈りなどを実施しているが、登山道整備の中でも一番苦勞しているのは、滝コースの 2 箇所にかけている丸太橋であり、毎年台風の度に流される。流されるのはやむを得ないという考え方で対応しているが、山開きまでには橋を架け、一般市民の方や小学生でも徒渉できるようにしたいと考えている。今年の上開きは 6 月 16 日を予定し、来月に入ればすぐに整備を進める予定。以前は環境省からの 50 万円近い補助金でしっかりと丸太橋を架けたこともあったが、浸水したり上流からの流木がぶつかったりすることでおおよそ 10 年も経過すれば使えなくなってしまうため、現在では毎年橋をかけ、小学生でも徒渉できるようなものを作成している。
- ・今後も環境省や登山道管理者のご協力をいただき、整備に尽力を尽くしたい。これからもよろしくお願い申し上げます。

■新得山岳会 樋口会長

- ・新得町は、日本百名山のトムラウシ山と十勝岳を有する。新得山岳会としては、トムラウシ山の方は環境省と連絡をとりながら整備を進めているが、十勝岳の新得コースについてはほぼ手付かずの状態。このコースは望岳台から登るコースとは全く異なるロングコースで、魅力的な場所であり、ぜひ歩きやすいように整備したいところだが、新得山岳会も他の山岳会と同様に高齢化が進んでおり、作業にあたり人員的な問題があり、円滑に作業を進めることも難しくなってきた。今後新しい会員が入会することを期待するが、難しい状態が続いている。
- ・トムラウシ山の方は昨年（一社）大雪山山守隊と協力し、登山道整備や木道の設置を進めてきた。今年もトムラウシ山に木道を設置する予定があるとのことなので、できるだけ多くの会員に声をかけ、協力していきたい。
- ・新得山岳会は現在会員数 58 名だが、ほとんどの方が仕事を持っており、また年齢を重ねて体に不調を感じられる方もいて、常時作業できる人数が減少している。それでもやはりトムラウシ山などを管理していかなければならず、多くの皆様方のご協力をお願いしながら進めていきたいと思っているので、よろしくお願い申し上げます。

■大雪山国立公園パークボランティア連絡会 垣内会長

- ・登山道維持管理部会に参画しての感想ということでお話しさせていただくが、大雪山国立公園連絡協議会の組織構成の整備等により、部会の中で忌憚のない意見を持って協議できていることは、過去の状況と比較するとずいぶん良くなったと考える。この部会で検討し合うことで関係者間の風通しが良くなったと思っており、今後も検討を継続することが非常に重要だと考えている。登山道そのものの状況も関係者間で比較的迅速に共有できているとも思っており、問題点の課題化や整理もできているのではないかと。現在のプロセスを進めていく先に良い解決方法が見つかるかと私は信じている。
- ・ただ、登山道整備に関して、かなりの部分をボランティアや協力金に頼らざるを得ない状況があり、この状況についても今後良い方向に変わっていければ良いと考えている。
- ・大雪山国立公園パークボランティア連絡会の簡単な紹介をさせていただく。昨年、新会員

を募集し、44名の会員を新たに迎え、令和6年度は総勢130名で活動予定。新会員の志望動機を見ると、登山道整備に関心を持つ方も少なからずいたが、本連絡会会員として登山道整備イベントに参加することは今年度の事業計画に含まれていないため難しいかもしれないが、私も一個人として参加していきたいと考えている。今後調整が必要になると思うが、会員からの意見も聞き取りながら、登山道整備の指導をしていただく方をお迎えし、パークボランティア連絡会の企画として勉強会のようなものを開くことも検討している。よろしく願い申し上げます。

・報告事項3) 大雪山国立公園指定90周年事業について

…事務局(高橋)より資料に基づき説明。

- ▶ 本協議会及び環境省北海道地方環境事務所の共催として12月に記念フォーラムを開催し、メッセージ募集企画及び今昔アーカイブ写真展を本協議会で実施。
- ▶ 東川町主催の記念フォーラムを実施予定とのことで、詳細は調整中。
- ▶ (株)りんゆう観光にてパネル展示及び記念切手販売(資料2-3別添参照)。
- ▶ 記念事業のスケジュールに関しては、随時追加予定である。

→以下の質疑、ご発言あり。

【質疑・ご発言】

■北海道大学大学院地球環境科学院 渡邊教授

- ・本協議会主催のメッセージ募集企画と今昔アーカイブ写真展について、メッセージに関しては募集することのだが、写真に関しては募集ではなく収集するのか。

■事務局 高橋

- ・今昔アーカイブ写真展に関しては、別枠で昔の写真を集める予定で、メッセージ募集企画に関しては、昔撮った写真や家族で山に登った写真などとメッセージとを一緒に集め、発信できればと思っているため、別枠として取り扱う予定である。

■北海道大学大学院地球環境科学院 渡邊教授

- ・メッセージ募集企画で募集した写真は、今昔アーカイブ写真展としては展示しないということで承知した。集め方として、
- ・家族での思い出などの意味合いの大きい写真も大事だが、それだけではなく、過去の登山道の写真なども現在の登山道の保全管理にとっても有効なので、昔の写真に関してはどのようなものでもどんどん集められるような募集の仕方もぜひご検討いただきたい。

■東川町 菊地町長

- ・東川町は開拓から130年、写真の街宣言から40年を迎えており、節目の年が重なっている。冠事業の中に国立公園指定90周年ということも、盛り込めるものに関しては盛り込み、実施していきたいと考えている。
- ・東川町開拓130年記念のメモリアルイベントを行う予定である。簡単に言うと、野外コンサートのようなイベントを企画しているが、東川町を旭岳麓の町として、国立公園指定90年ということも位置付けながら開催したいと考えている。
- ・その他細かいものについても、いろいろと職員の方にも工夫してほしいということで指示

を出している。またシンボルマークの使い方等についても、いろいろとご相談申し上げたい。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

■ (株) りんゆう観光 山崎事業所長

- ・今回、環境省と相談し、また郵便局とタイアップして記念切手を作成した。6月中旬頃から、黒岳ロープウェイの駅舎と郵便局で購入可能となる予定。値段は未定で、郵便局のものなのでこちらで値段を勝手につけることもできないが、1,600円ぐらいを想定しており、600枚ほどの印刷のため、早めにお買ひ求めいただきたい。
 - ・一点情報共有として、『岳人』という雑誌の6月号が数日前から発売となり、60ページにわたり大雪山の特集を組んでいただき、過去の歴史含めいろいろと詳しく掲載されている。
 - ・トムソン准教授も仰っていたが、今年は全国、世界中から大雪山が目を向けられるのではないかと思う。保全ルールのポスターが完成したこともあるので、皆さんに来ていただき、みんなで守る大雪山にしていきたいと考えている。
- ・報告事項4) 各構成員からの情報提供、情報交換について
- ▶ 上川町産業経済課鈴木課長より、資料2-4-1に基づき、令和5年度の白雲岳避難小屋の利用状況及び今後のヒグマ対応方針案、大雪山国立公園層雲峡地区活性化地域協議会の取組概要について情報提供。
 - ▶ 東川町適疎推進課窪田課長より、資料2-4-2に基づき、天人峡廃屋除却に向けた現在の経過について情報提供。
 - ▶ 鹿追町ジオパーク推進課大西係長より、資料2-4-5に基づき、大雪山国立公園内における新種鉱物「北海道石」の発見について情報提供。
 - ▶ 北海道上川総合振興局環境生活課中島主査より、資料2-4-6に基づき、クラウドファンディングを活用した裾合平の木道整備について情報提供。
 - ▶ 美瑛町まちづくり推進課地域みらい創造室大庭室長より、資料2-4-3に基づき、ゼロカーボンパークの申請について情報提供。
 - ▶ 美瑛町商工観光交流課柳田主事より、資料2-4-4に基づき、十勝岳ジオパーク推進協議会の活動概要について情報提供。
 - ▶ 上川町産業経済課商工観光グループ畠山係長より、町道通行止めについて、口頭で情報提供。
 - ・ニセイカウシュッペ山に至る町道チカリベツ線について、昨年は工事のため通行できない状況が続き、登山者の皆様にはご迷惑をお掛けした。昨年時点で、令和6年度のなるべく早い段階で開通させるということで皆様にお伝えしていたところ、関係部署や業者と調整した結果、資材調達が遅れているという事情もあるが、今年の8月10日には一般開放する予定。ただし、工事の進捗状況等によっては開通時期が前後する可能性もあるので、状況については上川町のホームページ等で随時公開していきたい。また、一般開放後も工事車両が通行すると聞いており、通行の際はご注意ください。
 - ▶ 北海道大学大学院地球環境科学院渡邊教授より、大雪山カムイミントラジオパーク構想について、口頭で情報提供。
 - ・先ほどとかち鹿追ジオパークと十勝岳ジオパークより活動報告があったが、ジオパーク

に関連したことで、皆様に情報共有ないし今後議論していただきたいことが一つある。

- ・「大雪山カムイミンタラジオパーク構想」という構想が 2018 年からあることは多くの方がご存知かと思う。この構想は旭川市が中心となり 1 市 7 町で進められており、その中には上川町と東川町も入っている。この大雪山国立公園連絡協議会の主要メンバーも入っているところ、これは両町の問題ではなく、大雪山国立公園全体にとってとても重要な問題であると認識している。
- ・本日の総会の最初に大雪山国立公園ビジョン展開事業の報告があった。このビジョンの中にも記載されているが、大雪山国立公園の価値の一つに「高山帯にある周氷河地形」というものがある。皆様もご存じのことと思うが、大雪山国立公園の高山帯には永久凍土があり、全国でも有数の寒冷地で、雪も多い。このような特殊な環境下に周氷河地形と呼ばれる地形があり、1960 年代からいくつもの研究が行われている。この周氷河地形は大雪山国立公園内にあり、特に上川町と東川町を中心として日本の中では他の追随を許さないくらい広域に存在している。その種類もとても豊富で、周氷河地形だけではなく、お鉢平に代表されるカルデラ地形があったり、それが噴火した時の火砕流堆積物が層雲峡や天人峡を埋めたりしたことは皆様もよくご存知かと思う。また、高根ヶ原から東側の高原温泉周辺は地滑り地形で、その地滑り地形がヒグマの生息地となっている。大雪山のお花畑、高山植物はとても多様で、とても綺麗なことも言うまでもなくご存知だろう。これは地形が複雑で、冬には世界的に見てもとても強い風が吹き続けることに起因する。強風地帯に雪が多く降ると、積雪地の分布は大きく変わる。すると、雪どけの時期が変わるので、多様な高山植物が咲くことになる。つまり、大雪山の高山植物も多様な地形の下にあるわけである。
- ・しかしながら、上述のこのようなことは、「大雪山カムイミンタラジオパーク構想」の中ではほとんど考慮されていない。この構想は、神居古潭を中心にジオパークを展開したいということもあるからかもしれない。それはとても大事なことであり、今までの実績も十分あるので、ジオパークを設立することに対しては私たちもむしろ協力すべきことであると思うが、今の状況でそのまま進んだ時に、実際にメンバーになられている上川町と東川町におかれては、黙っていると大雪山国立公園で一番価値があるところがほとんどスルーされてしまうことになりかねない。そうなると、大雪山国立公園にとっては、その価値を下げることに繋がりがかねない。
- ・そのようなことが危惧されるので、ぜひ本日ご出席の皆様におかれては、大雪山国立公園の価値を認識した上で、ジオパークをもし推進するのであれば、上川町や東川町については、価値があるものに対して評価し、それをジオパーク内で強調するようご発言いただきたい。もしくは、そうではなく、上川町や東川町が国立公園を核にして独自に進めたい、そして、とかち鹿追ジオパークと十勝岳ジオパークと、新しく北の方のできるジオパークと連携するような形で行いたいということであれば、それはそれで良いと思う。
- ・いずれにしても、それぞれの町の中でこれから議論して決めていただくことで、私たちがどうこう言うことではないが、ジオパークが国立公園の中にできることは、本来は国立公園の価値を高めることになるはずである。そのため、もしジオパークができるのであれば、大雪山国立公園にとってより良い形でジオパークが生まれるよう、関係する町

の方々にはご尽力いただきたいと思う。本協議会構成員の方々にもぜひこのようなことをご理解いただき、色々な場で声を上げていただきたい。

→特段の質疑なし。

3. その他

■事務局 西井

- ・今年度においても、これまで同様、各部会や作業部会の招集にあたっては、都度事務局より連絡させていただく。開催時期については、関係する機関・団体の皆様と協議を行いながら日程等を調整し、必要な情報についてメーリングリスト等を活用してご連絡、情報共有を進めたい。ご協力とご理解の程よろしくお願い申し上げます。

4. 閉会

■環境省北海道地方環境事務所 牛場所長より挨拶

- ・大雪山国立公園の管理運営に対し、日頃のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。また、本年初めに発生した能登半島地震災害に対する人的支援派遣へのご協力をいただいた関連する自治体の皆様におかれては、この場を借りて改めて御礼申し上げます。
- ・今日は滞りなく議事を進行いただいた西木上川町長、またご参加、情報提供等いただいた菊地東川町長をはじめ、関係各位に対し、心より感謝申し上げます。また、当協議会にお力添えをいただくことになった澤田先生、トムソン先生、よろしくようお願い申し上げます。
- ・皆様ご承知の通り、本協議会は大雪山国立公園ビジョンの実現を目指すものだが、本日のいずれの課題も一朝一夕に解決できるものではなく、本協議会を母体として様々な関係者の皆様の巻き込みながら協働型管理を進めていくことが求められている。本日の総会でご承認いただいた審議事項に従い、事務局を預かる環境省としてしっかり役割を果たしていきたい。
- ・本日の総会では、大雪山国立公園で初のゼロカーボンパークの認定を目指す美瑛町より話題提供があった。皆様ご承知の通り、本協議会を構成する全 10 市町は既にゼロカーボン宣言をされ、脱炭素先行地域の上士幌町、鹿追町をはじめ、士幌町にも交付金等をご活用いただき、脱炭素の取り組みが推進されている。近い将来、本公園がカーボンニュートラルの核となり、訪れる国内外の利用者が持続可能な観光やライフスタイルを体感できる場となるよう、一層の取組の進展を期待している。新たな脱炭素の取組に関しても、気軽に地方環境事務所の方にご相談いただくようお願い申し上げます。
- ・現在、環境省では脱炭素、循環経済、自然再興に総合的に取り組みながら地域課題を同時解決していくことを目指している。特に本年は、日高山脈襟裳国定公園の国立公園化を目指しているところである。このような中、大雪山国立公園は指定 90 周年という節目を迎え、記念行事の実施についてもご承認いただいた。
- ・最後になるが、当該記念行事も含め、皆様の様々な取組への参画により、当公園のビジョン「まもり、活かし、つなげよう みんなでつくる、世界を魅了する大雪山国立公園」の実現に向けて、本協議会において、協議会内外とのますますの連携協力をお願いし、閉会の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上